

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた題材構想〈小・家庭〉

特別研修員 家庭 小林 淳子（小学校教諭）

題材名 『物を生かして住みやすく』（第5学年） 全8時間計画

## 題材のねらい

快適な住まいについて考え、クリーン大作戦を実践することを通して、身の回りの整理・整頓や清掃の仕方に関する知識及び技能を身に付けさせるとともに、環境に配慮して気持ちよく生活するための実践計画を考え、整理・整頓や清掃の仕方を工夫し、日常生活をより快適な住まいにしようとする実践的な態度を育成する。

## 題材構想の意図

本題材では、身の回りの整理・整頓や掃除の学習を通して、環境に配慮して気持ちよく生活するための住まい方に関心を持ち、整理・整頓や汚れに応じた掃除の知識及び技能を習得していくために、つかむ過程で日常生活などから問題を見だし、解決すべき課題を設定します。追究する過程では、整理・整頓や掃除を通して、手順や方法を理解します。家庭での実践計画を立てるときは、既習の知識及び技能や「健康・快適」の視点から、環境に配慮して、整理・整頓、掃除の仕方について考えさせます。まとめる過程では実践発表・評価を行い、改善策・新たな課題に気付けるようにし、学びが深まるように構成しました。

過程	主な学習活動	学ぶ必要感をもたせる
つかむ (2)	<p><b>1. 題材の見通しをもつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材に係る内容について、日常生活の中から問題を見いだす。</li> <li>○題材を貫く課題を立てる。</li> </ul> <p>家族が快適に住まうために自分ができることを増やそう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題を基に学習計画を立てる。</li> </ul>	<p><b>学ぶ必要感をもたせる</b></p> <p>快適な住まいについて教科書の挿絵を比較させたり、日常生活を想起させたりすることを通して、住まいについて疑問に思うこと、できるようになりたいことを具体的に考えさせる。</p> <p><b>解決すべき課題を明確にさせる</b></p> <p>各自が考える問題をグループで出し合い、共通点を見いだしてまとめさせ、それらを整理・分類して学習課題を設定させることを通して、主体的な学びにつなげる。</p>
追究する (5)	<p><b>2. 実践的・体験的な活動を行う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○整理・整頓の実習を行い、使いやすい道具箱に整えることを通して、整理・整頓のコツを習得する。</li> </ul>  <p>&lt;整理・整頓の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲストティーチャーから掃除の必要性や環境に配慮した掃除の仕方について話を聞いたり、汚れに応じた掃除の方法についてまとめたりすることを通して、掃除の必要性や手順と方法を考える。</li> <li>○汚れに応じた掃除を実習し、振り返る。</li> <li>○環境に配慮した物の使い方や生かし方を考える。</li> </ul> <p><b>3. 課題解決に向けた実践計画を立てる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項を生かして家庭で行う実践「クリーン大作戦」の計画を立てる。</li> <li>○グループでアドバイスし合ったり、「健康・快適」の視点から見直したりして、よりよい計画にする。</li> </ul>  <p>&lt;グループで検討する様子&gt;</p>	<p><b>課題解決の見通しをもたせる</b></p> <p>学習課題の解決のために、本題材の学習終了までを見通して、どのようなことを学びたいか主体的に考え、学習計画を立てさせる。家庭と連携し、家庭での実践場所を事前に決め、「追究する過程」では、自分の計画に生かす視点で主体的に学習を進めさせる。</p> <p><b>課題解決に必要な知識及び技能を身に付けさせる</b></p> <p>実践的・体験的な活動を充実させ、現状の問題点・課題を改善するための知識や方法を考えさせる。試行錯誤することで、実感を伴った知識及び技能の習得ができるようにする。</p> <p><b>習得した知識及び技能を活用させる</b></p> <p>家庭での実践「クリーン大作戦」に向けて活用できる知識及び技能を書き込むことができるワークシートを工夫し、実践計画を立てる場面で生かせるようにする。</p> <p><b>よりよい解決方法を考えさせる</b></p> <p>見方・考え方を働かせ、「健康・快適」の視点から計画を再考し、よりよい家庭での実践計画になっているか確認させる。</p>
まとめる (1)	<p><b>4. 学びや変容を自覚し、今後の生活に生かす</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭での実践の振り返りをグループで発表し、友達のよかったところや自分が家庭で生かせそうなことを記入し、意見交流する。</li> <li>○グループや全体交流の中で、改善策や新たな課題に気付く。</li> <li>○本題材の学習課題について解決できたか確認したり、快適な住まいについてイメージを再認識したりして、今後の生活に生かしてみたいことを考える。</li> </ul>	<p><b>改善策や新たな課題に気付かせる</b></p> <p>自己評価・相互評価、意見交流などを通して、今まで思い付かなかったことや納得できなかったことについて捉え直せるようにしたり、新たな課題について検討させたりすることで、深い学びにつなげる。</p> <p><b>学びや変容を自覚させ、実践的な態度を養う</b></p> <p>題材を通して分かったことやできるようになったことを振り返らせ、今後、家族の一員としてよりよく生活するために生かせることを考えさせ、実践力に結び付ける。</p>

指導例：『物を生かして住みやすく』（第5学年 第1時）

1 本時のめあてをつかむ。

○題材に係る内容について、日常生活を振り返る。

めあて 住まいについて、学習課題を立てよう。

T：これから住まいについて、学習を始めます。「住まい」とは、何だろう。

S：家の中。 S：生活するところ。 S：寝て、ごはんを食べるところ。

2 日常生活の中から問題を見いだす。

○快適な住まいについて問題を見いだし、一人一人が考えたことを記述する。

T：散らかっている部屋と整理・整頓、掃除をしてある部屋を比較して、「快適な住まい」について考えよう。

S：床に物が散らかっていない。 S：掃除がしてある。 S：物が整って置いてある。

T：住まいに関わる仕事の中で、家族がしていること、自分がしていることを確認してみよう。

S：自分は何もしていない。 S：お風呂掃除はしている。

T：「快適な住まい」のために疑問に思うことやできるようになりたいことを付箋紙に記入してください。

3 題材を貫く課題を立てる。

○共有した多様な問題から、題材を貫く課題を立てる。

T：それぞれが付箋紙に書いたことをグループで出し合ってみよう。

S：トイレの掃除の仕方が分からないな。 S：片付け方が分からないな。

T：班ごとに発表してください。

S：掃除の仕方が分かりません。

S：整理・整頓のコツを知りたいです。

T：「快適な住まい」のために、どんな学習課題を立てたらよいでしょうか。

S：知らないことがたくさんあるから、自分で住まいをきれいにできるようにする。

S：できることを増やしたい。

S：家族とくつろげるようにしたいな。

T：では、この題材の学習課題は、「家族が快適に住もうために、自分ができることを増やそう。」にしましょう。

これから自分一人で、整理・整頓や掃除などをできるようにしていきます。

4 本時の振り返りをする。

○題材を貫く課題から、次時に学習計画を立てることを確認する。

T：これからの学習で頑張りたいことは何ですか。

S：家族が掃除をしているから、掃除の仕方が分からない。掃除の仕方を知りたいです。

S：掃除ができるようになったら、家で進んでしたいです。

S：家族のために住まいについてできることを増やして、快適に生活したいです。

T：次の時間に学習計画を立てましょう。

指導のポイント

本時の学びに見通しをもたせるために、めあてを設定させる

○題材の導入として、「住まい」について考えを出させ、イメージを膨らませられるようにする。

学ぶ必要感をもたせるために各自で問題を見いださせる

○日常生活を振り返ったり、教科書の写真を見たりして、住まいについて疑問に思うこと、できるようになりたいことを付箋紙に記入させ、具体的に考えられるようにする。

課題を明確にするために各自の問題を共有させる

○各自の問題をグループで出し合い、共通点を見いだしてまとめる。

○学級全体で、グループでまとめた問題を整理・分類して、課題を明確にし、題材を貫く課題としてまとめ、主体的な学びを促す。

本題材に意欲をもたせるために、振り返りをさせる

○本題材の学習終了までを見通して、どのようなことを学びたいか主体的に考えさせる。



指導例：『物を生かして住みやすく』（第5学年 第3時）

1 本時のめあてをつかむ。

○学習計画における本時の位置付けを確認する。

T：今日は、どんな学習をするのかな。

S：整理・整頓をします。 S：どこの整理・整頓をするのかな。

めあて 整理・整頓のコツを見付けよう。

T：自分の道具箱を整理・整頓します。どんなことに気を付けてするとよいか考えてみましょう。

2 実践的・体験的な活動を行う。

○整理・整頓を行い、使いやすい道具箱にする。

T：整理・整頓する前の道具箱をイラストで描いてみよう。

S：使っていない物が入っています。

T：使いにくい所や散らかる所はありますか。

S：たくさんのプリントで、ぐちゃぐちゃです。

S：仕切り板がうまく使えません。



3 一人一人が気付いたことをまとめる。

○言葉やイラスト等を使い、気付いたことをワークシートに記入する。

T：整理・整頓をしてみて、道具箱の様子をイラストで描いてみよう。

S：ごみがたくさん出ました。これをどうしよう。

S：取りにくかった色鉛筆が、取り出しやすくなりました。

S：すごくきれいになりました。使わない物が道具箱に入っていたので、持ち帰ります。

4 全体で共有し、まとめる。

○整理・整頓の手順や方法が適切だったかを意見交流し、まとめをする。

T：整理・整頓をしてみて、気付いたことを発表しましょう。

S：使う頻度によって、物の置き場所を決めました。これで物がなくならないと思います。

S：物の大きさがそろると、見栄えがよくなり、出しやすくなりました。

S：仕切り板を使って、整頓できました。

S：物の置き場所を決めて、使った後に元に戻せば、ずっとこのままの状態が保てると思います。

T：では、まとめは、「使う物、使わない物に分けて、使う物の置き場所を決めることが大切」としましょう。

5 本時の振り返りをする。

T：振り返りは、「整理・整頓のコツで分かったこと」について書きましょう。

S：空き箱を使って、仕切りを作ると便利なのが分かりました。

S：置き場所を決めておくと、物をなくさずに済むと思いました。

T：クリーン大作戦に生かせそうなことは何ですか。

S：リビングにある細かいものは、かごに入れて整頓できると思います。

S：使う頻度によって、物の置き場所を決めたいです。

指導のポイント

児童との対話を通して  
めあてを設定させる

○学習課題を確認し、学習計画からめあてを引き出し、主体的な学びにつなげていく。

実践的・体験的な活動を  
充実させる

○課題解決に向けて、試行錯誤しながら整理・整頓を行い、実感を伴った知識及び技能の習得ができるようにする。

活動を通して気付いたことを  
まとめさせる

○活動の様子を視点に沿ってまとめられるようワークシートを工夫し、現状の問題点・課題と改善するための知識や方法を考えられるようにする。

気づきを共有するために  
全体で交流させる

○整理・整頓を通して各自が気付いたことを説明したり、話し合ったりして、クラス全体で共有できるようにし、それらの意見を一般化して整理・整頓の目的を確認する。

学びを今後に生かすために  
振り返りをさせる

○本時の学びから、分かったこと、できるようになったことを振り返らせ、クリーン大作戦に生かせるようにする。

指導例：『物を生かして住みやすく』（第5学年 第7時）

1 本時のめあてをつかむ。

○学習計画における本時の位置付けを確認する。

めあて 家族が快適に生活するために、クリーン大作戦を計画しよう。

T：クリーン大作戦に生かせそうなことをワークシートにまとめてありますね。

S：家族にインタビューもしてきました。

2 課題解決に向けた実践計画を作成する。

○家庭で行う実習「クリーン大作戦」の計画を立てる。

T：今まで習ったことは、どんなことがありますか。

S：整理・整頓と掃除です。

S：不用品の活用もしました。

T：それらを生かして、家族が快適に住まうためのクリーン大作戦の計画を立てましょう。

S：整理・整頓を学習したときのワークシートを見てみよう。



3 実践計画について検討する。

○計画についてグループでアドバイスし合う。

S：着なくなったTシャツをぞうきんにしたらどうですか。

S：小さくなったくつは、履ける人にあげたらいいと思います。

S：そうですね。いどこにあげて、使ってもらおうと思います。

S：整理・整頓と掃除の順番を変えたらいいと思います。

S：整理・整頓してから掃除をすることにします。青ペンで、付け足すね。

S：箱で小物入れを作ったらいいと思います。

S：そうですね。工具箱の整理・整頓の時、箱を使って整頓したね。

4 実践計画を見直す。

○家族が快適に住まうための計画になっているか確認する。

T：計画したクリーン大作戦を家でしたら、家族は喜んでくれそうですか。

S：気持ちよく過ごせると思います。

S：「ありがとう」と言ってもらえると思います。

T：自分が掃除している姿をイメージして、やってみましょう。

S：机の上を整理・整頓して、奥から手前に雑巾で拭いて・・・。

S：出しっ放しになっている季節外れの物は、しまって・・・。

S：やってみたら、掃除の順番が変わりました。順番が変わった所は、青ペンで、矢印を付け加えます。

5 本時の振り返りをする。

T：家で行うクリーン大作戦で頑張りたいことは何ですか。

S：窓の汚れを色々な道具を使って落としてみたいです。

S：玄関を掃除するので、誰が来てはまずかしくないようにきれいにしたいです。

S：友達からアドバイスしてもらったことをやってみようと思います。

S：家族が気持ちよく生活できるようにして、家族に喜んでほしいです。

指導のポイント

児童との対話を通して  
めあてを設定させる

○学習課題を確認し、学習計画から  
めあてを引き出し、主体的な学び  
につなげていく。

既習の知識を生かして  
実践計画を立てさせる

○題材を通して、習得した知識及び  
技能を活用するためのワークシ  
ートを用い、1時間ごとに記入  
させる。それらを活用して実践  
計画を立てさせる。

よりよい計画にするために  
実践計画を検討させる

○既習の知識を生かして、グルー  
プでアドバイスし合い、計画を再考  
できるように対話的な学びを促  
す。

実践への見通しをもたせる  
ために、計画を見直させる

○見方・考え方を働かせ、「健康・快  
適」の視点から計画を再考させる  
ことによって、考えを深められる  
ようにする。

○計画をシミュレーションし、実際  
に活動してみることによって、実  
践へのイメージをもたせる。

実践への意欲をもたせる  
ために、振り返りをさせる

○全体で、クリーン大作戦で頑張り  
たいことを発表し合う。

指導例：『物を生かして住みやすく』（第5学年 第8時）

1 本時のめあてをつかむ。

○学習計画における本時の位置付けを確認する。

T：今日は、何をしますか。 S：クリーン大作戦の発表会です。

T：どんなめあてにしようか。

S：友達の発表を聞いて・・・ S：友達のいい所を見付けよう。

S：「いい所を見付けて、自分の生活に生かそう」がいいと思います。

T：では、「友達の工夫を自分の生活に生かそう」にしましょう。

めあて 友達の工夫を自分の生活に生かそう。

2 家庭で実践した結果を評価する。

○家庭での実践の振り返りを発表し、友達のよかった所や自分が家庭で生かせそうなことを記入し、意見交流する。

T：クリーン大作戦を振り返りましょう。まずは、自分の実践について、振り返りましょう。

T：次に、グループで発表しましょう。よかった所や参考になったことをワークシートに書いてください。発表した友達に、よかった所を伝えてください。

S：じゃがいもの皮で鏡を拭くことをやってみないな。



3 結果を発表し、よくできた点、改善策について検討する。

○クリーン大作戦を行って、よくできた点・工夫した点を発表する。

T：「クリーン大作戦」を通して、できるようになったこと、分かったことは何ですか。

S：整理・整頓をするときに、必要な物を使いやすいように配置できました。

S：掃除のときは、環境に優しい重曹を使って汚れを落とせるようになりました。

S：私は、環境のことを考えて、新聞を使って窓を拭きました。

S：どうしたら家族が健康に過ごせるか考えて、ほこりやダニを取り除こうと思って掃除をしました。

S：自分がいらなくなったものをすぐに捨てないで、どう活用できるか考えることが大切だと思いました。

S：玄関掃除をしてみて、玄関に入る前に靴の泥を落として入ってきてほしいと思いました。家族に伝えました。

4 題材を貫く課題について、まとめる。

○題材を貫く課題について解決ができたか確認する。

T：できないな、知りたいなと思っていたことを覚えていますか。

S：整理・整頓をどうしたらよいか分かりませんでした。

T：「家族が快適に住まうために、自分ができることを増やそう」を通して、できるようになったこと、考えたことは何ですか。

S：整理・整頓ができるようになりました。私が協力すると家族が喜ぶと思います。

5 本時の振り返りをする。

T：家族が快適に生活するために、どんなことをしてみたいですか。

S：玄関を掃除したいです。友達から「玄関に水をまいて汚れを浮かせる方法」を聞いて、やってみたいと思ったからです。

S：リビングを掃除してみたいです。家族が集まる一番広い場所だからです。テレビの裏にほこりがたまっていると思うので、きれいになりたいです。

指導のポイント

児童との対話を通してめあてを設定させる

○学習計画を確認し、学習計画からめあてを引き出し、主体的な学びにつなげていく。

改善策や新たな課題に気付かせるために、意見交流させる

○評価の規準を明確にし、個人では自己評価を行えるようにする。

○グループでは家庭での実践をまとめたワークシートを用いて発表会を行わせ、相互評価、意見交流ができるようにする。

○今まで思い付かなかったり、納得できなかったりしたことについて捉え直せるようにし、改善策や新たな課題について検討できるようにする。

学びや変容を自覚させるために本題材の学習を再確認させる

○本時までの学習を通して分かったことやできるようになったことなどを振り返ることによって、学習課題が解決できたか確認させる。

今後の生活に生かすために振り返りをさせる

○家族が健康で快適に生活するために、題材を通して学んだことを生かして今後の生活を考えさせ、意欲付けをする。

# 家庭科学習指導案

平成30年10月～11月 第5学年 指導者 小林 淳子

## I 題材名 「物を生かして住みやすく」

## II 学習指導要領上の位置付け

B 衣食住の生活

(6) 快適な住まい方

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。

(イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできること。

イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、適切な住まい方を工夫すること。

## III 目標

快適な住まいについて考え、クリーン大作戦を実践することを通して、身の回りの整理・整頓や清掃の仕方に関する知識及び技能を身に付けさせるとともに、環境に配慮して気持ちよく生活するための実践計画を考え、整理・整頓や清掃の仕方を工夫し、日常生活をより快適な住まいにしようとする実践的な態度を育成する。

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／8）

- ねらい 快適な住まいについて、日常生活を振り返って問題を見だし、題材を貫く課題を立てる活動を通して、これからの学習への意欲をもてるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）			
めあて 住まいについて問題を見だし、学習課題を立てよう。			
2 快適な住まいについて、問題を見だす。（15分）			
<p>○教科書を用いて、散らかっている部屋と適切に整理・整頓、清掃されている部屋を比較して散らかった部屋がどのようにしたら快適になるか考え、「快適な住まい」のイメージをもたせる。 <span style="float: right;">〈全体〉</span></p> <p>○日常生活を想起し、住まいのために家族がしていること、自分がしていることを確認させる。</p> <p>○快適な住まいのために、疑問に思うことやできるようにになりたいことを付箋紙に記入させる。 <span style="float: right;">〈個人〉</span></p>			
3 各自が見いだした問題を基に、題材を貫く課題を立てる。（20分）			
<p>○自分の考えを出し合い、多様な問題を分類・整理させる。 <span style="float: right;">〈グループ〉</span></p> <p>○活発に話し合いができるように、あらかじめ意図的なグループを作っておく。</p> <p>○グループの考えを出し合い、全体で共有する。 <span style="float: right;">〈全体〉</span></p> <p>○「快適な住まい」を実現するための学習課題であることを確認する。</p>			
学習課題 家族が快適に住まうために自分ができることを増やそう。			
家族が快適に住まうために、どのような学習をしたらよいかについて考えている。 <span style="float: right;">〈観察・付箋・発表（1）〉</span>			
4 本時の振り返りをする。（5分）			
<p>○「次の時間に頑張りたいこと、その他思ったこと」を問い掛ける。</p> <p>☆家族がいつも掃除をしているから、掃除の仕方が分からない。</p> <p>☆自分の部屋は自分で掃除をしているけれど、もっとよい方法があるか知りたい。</p> <p>☆知らないことがたくさんあるから、自分で住まいをきれいにしたい。</p> <p>☆掃除ができるようになったら、家で進んでほしい。</p> <p>☆できることを増やして、家族と快適に生活したい。</p> <p>○次時は、学習計画を立てることを伝える。</p>			

## V 本時の展開 (3/8)

- 1 ねらい 自分の道具箱を整理・整頓して気付いたことをまとめる活動を通して、整理・整頓の手順と方法を身に付けられるようにする。

### 2 展開

学習活動 (分)	○: 留意点	点線囲: 評価	☆: 振り返りの子供の意識
<b>1 本時のめあてをつかむ。(3分)</b> ○学習計画に従って本時は3時間目であることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 整理・整頓のコツを見付けよう。</div>			
<b>2 整理・整頓を行い、使いやすい道具箱にする。(25分) 〈個人〉</b> ○整理・整頓する前の道具箱の様子を簡単にイラストで描かせる。 ○使いにくい所、散らかる所を考えさせる。			
<b>3 一人一人が気付いたことをまとめる。</b> ○気付いたことは、言葉や色付きイラストを使い自分の言葉でまとめさせる。 ○どんなものがごみや不用品になったかメモに書かせる。			
<b>4 整理・整頓の手順や方法が適切だったか意見交流し、まとめをする。(12分) 〈全体〉</b> ○友達と工夫したことを比べさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">まとめ 使う物、使わない物に分け、使う回数や物の大きさに合わせて、置き場所を決めるとよい。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;">身の回りの物の整理・整頓ができる。〈実習・ワークシート(3)〉</div>			
<b>5 本時の振り返りをする。(5分)</b> ○「分かったこと、できるようになったこと」を問い掛ける。 ☆物の置き場所を決めて、急いでしまう時も同じ場所にしまえばよいと思った。 ☆空き箱を使って、仕切りを作ると便利なのが分かった。 ☆引き出しの中を分類した時、必要かどうか迷う物は箱に入れてロッカーに入れておくとういことが分かった。			



## V 本時の展開（7／8）

- 1 ねらい クリーン大作戦の実践計画を立てる活動を通して、家族が気持ちよく生活できるように住まいの整理・整頓や掃除の仕方について考え、工夫できるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（3分）	○学習計画に従って本時は7時間目であることを確認する。		
めあて 家族が気持ちよく生活できるように、「クリーン大作戦」の計画を立てよう。			
2 課題解決に向けた実践計画を作成する。（17分）〈個人〉	○前時まで学習した知識・技能を活用して計画を立てさせる。		
【活用させたい知識・技能】			
①住まいの整理・整頓の仕方 ②住まいの清掃の仕方 ③環境に配慮した物の使い方			
3 実践計画について検討する。（15分）〈グループ〉	○どのような計画ができたか発表させる。		
○既習事項を根拠としてアドバイスし合い、友達のアドバイスを聞いて、参考になったことは青ペンで記入させる。			
4 実践計画を見直す。（5分）〈個人〉	○計画に必要な視点（家族が快適に生活できる）を意識した実践計画になっているか確認させる。		
○実践計画から、掃除している自分の姿をイメージさせ、掃除の手順を確かめさせる。			
身の回りを見直して課題を見付け、環境に配慮した整理・整頓、掃除の仕方について考えている。			
＜発表・ワークシート（2）＞			
5 本時の振り返りをする。（5分）	○「クリーン大作戦で頑張りたいこと」を問い掛ける。		
☆ 窓の汚れを色々な道具を使って落としてみたい。			
☆ 友達からアドバイスしてもらったことをやってみたい。			
☆ 玄関を掃除するので、誰が来てもはずかしくないようにきれいにしたい。			
☆ 家族が気持ちよく生活できるようにして、家族に喜んでもらいたい。			

## V 本時の展開 (8/8)

- 1 ねらい クリーン大作戦の実践を評価・改善することを通して、整理・整頓や掃除の工夫や応用の工夫を考え、自分の生活に生かすことができるようにする。

### 2 展開

学習活動 (分)	○: 留意点	点線囲: 評価	☆: 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(3分)	○家庭で実践したクリーン大作戦について、グループごとに発表会をすることを伝える。		
	めあて 実践発表会をして、友達の工夫を自分の生活に生かそう。		
2 実践した結果を評価する。(5分) 〈個人〉	○家庭での実践は、発表原稿になるワークシートを用いてまとめさせておき、よくできた所(工夫した所)やうまくいかなかった所について、自己評価を行わせる。		
3 結果を発表し、改善策や新たな課題について検討する。(22分)	○既習事項を生かした工夫や応用の発表を聞き、友達のよかった所や自分が家庭で生かせそうなことをメモに記入させる。 ○付箋紙を使って、意見交流させる。 〈グループ〉 ○ハンドサインを活用して児童同士で意見をつなげ、改善策を検討したり新たな課題に気付いたりするなど学び合える場にする。 〈全体〉		
4 題材を貫く課題についてまとめる。(10分) 〈全体〉	○題材を貫く課題について解決ができたか確認させ、快適な住まいのイメージを再確認させる。 ○今後、家族が快適に生活するために、どんなことをしたいか問い掛け、家庭での実践に意欲をもてるようにする。		
	友達の整理・整頓、掃除の工夫や応用に気づき、自分の生活に生かせることをまとめている。 〈発表・ワークシート(1)〉		
5 本時の振り返りをする。(5分)	○「友達の意見で参考になったこと、これから頑張りたいこと」を問い掛ける。 ☆玄関を掃除したい。友達から「玄関に水をまいて汚れを浮かせる方法」を聞いたので、やってみたい。 ☆家族が集まる一番広い場所だから、リビングを掃除してみたい。テレビの裏にほこりがたまっていると思うので、きれいにしたい。 ○家庭へおたより等で、家庭科の学習への理解と協力をお願いし、継続的に実践を行える環境を与えてもらえるようにする。		

指導計画 家庭科 第5学年 題材名「物を生かして住みやすく」(全8時間計画)

目標	快適な住まいについて考え、クリーン大作戦を実践することを通して、身の回りの整理・整頓や清掃の仕方に関する知識及び技能を身に付けさせるとともに、環境に配慮して気持ちよく生活するための実践計画を考え、整理・整頓や清掃の仕方を工夫し、日常生活をより快適な住まいにしようとする実践的な態度を育成する。				
評価規準	(1) 身の回りの整理・整頓や掃除の学習を通して、環境に配慮して気持ちよく生活するための住まい方に関心をもっている。 (2) 環境に配慮して、快適に住まう整理・整頓や掃除の仕方を工夫することができる。 (3) 整理・整頓や汚れに応じた掃除を行うことができる。 (4) 整理・整頓や汚れに応じた掃除の仕方を理解している。				
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り (意識)	◇評価項目 〈方法 (観点)〉	
つかむ	1	○快適な住まいについて、日常生活を振り返って問題を見だし、題材を貫く課題を立てる活動を通して、これからの学習への意欲をもてるようにする。  住まいについて問題を見だし、学習課題を立てよう。  家族が快適に住まうために自分ができていることを増やそう。	☆家族が掃除をしているから、掃除の仕方が分からないので、掃除のやり方を知りたい。 ☆掃除ができるようになったら、家で進んで行いたい。 ☆家族のために住まいについてできることを増やして、快適に生活したい。	◇家族が快適に住まうために、どのような学習をしたらよいかについて考えている。 〈観察・付箋・発表 (1)〉	
	1	○家族が快適に住まうために、学習内容 (一人で整理・整頓、掃除、ごみを減らす工夫、家庭での実践計画、家庭での実践発表会) を考え、学習計画を立てる活動を通して、これからの学習への意欲をもてるようにする。  学習課題から、学習計画を立てよう。	☆机の引き出しの中が、ぐちゃぐちゃで、必要な物がすぐに出せないから、整理・整頓の仕方を知りたい。 ☆簡単にきれいにできるお風呂場の掃除の仕方を知りたい。 ☆ごみを減らすには、何をしたらよいか知りたい。		
追究する	1	○自分の道具箱を整理・整頓して気付いたことをまとめる活動を通して、整理・整頓の手順と方法を身に付けられるようにする。  整理・整頓のコツを見付けよう。	☆物の置き場所を決めて、同じ場所にしまえばよいと思った。 ☆引き出しの中を分類した時、必要かどうか迷う物は箱に入れてロッカーに入れておくとよいと思った。	◇身の回りの物の整理・整頓ができる。〈実習・ワークシート (3)〉	
	・家庭で整理・整頓を実践する。				
	1	○家庭科室の汚れを調べ、汚れに応じた掃除の方法についてまとめることを通して、掃除の必要性や手順と方法を理解できるようにする。  家庭科室の掃除を計画しよう。	☆掃除をして、かびやダニなどを取り除き、健康な生活をしたい。 ☆油污れを自分で落としてみたい。 ☆部屋の上の方から下に向かって掃除をしていくと効率がよいことが分かった。 ☆掃除道具を不用品で作ってみたい。	◇掃除の必要性とその手順や方法について理解している。〈実習・ワークシート (4)〉	
	1	○既習事項を生かして、家庭科室を掃除することを通して、汚れの種類や汚れ方に応じた掃除の方法を身に付けられるようにする。  掃除の計画に従って、家庭科室の掃除をしよう。	☆いらなくなった布が役立つ。 ☆時間が経った汚れは、落としぶらいことが分かった。 ☆重費で初めて掃除をしてみて、家でもやってみたいと思った。	◇汚れの種類や汚れ方に応じた掃除ができる。〈実習・ワークシート (3)〉	
	1	○ごみを減らす方法やごみの分別を整理することを通して、物を生かしてごみを減らす工夫について理解できるようにする。  ごみを減らすためにできることは、何だろう。	☆物を買うときによく考えて、必要な物を買おうと思った。 ☆物を最後まで使うこともごみを減らす工夫だと分かった。 ☆4年の社会で学習したことを思い出して、物を捨てる時は、分別することが大切だと思った。	◇環境に配慮した物の使い方や生かし方について理解している。 〈発表・ワークシート (4)〉	
	1	○クリーン大作戦の実践計画を立てる活動を通して、家族が気持ちよく生活できるように住まいの整理・整頓や掃除の仕方について考え、工夫できるようにする。  家族が気持ちよく生活できるように、「クリーン大作戦」の計画を立てよう。	☆窓の汚れを色々な道具を使って落としてみたい。 ☆友達からアドバイスしてもらったことをやってみたいと思う。 ☆家族が気持ちよく生活できるようにして、家族に喜んでもらいたい。	◇身の回りを見直して課題を見付け、環境に配慮した整理・整頓、掃除の仕方について考えている。〈発表・ワークシート (2)〉	
・家庭でクリーン大作戦を実践する。					
まとめる	1	○クリーン大作戦の実践を評価・改善することを通して、整理・整頓や掃除の工夫や応用の仕方を考え、自分の生活に生かすことができるようにする。  実践発表会をして、友達の工夫を自分の生活に生かそう。	☆玄関を掃除したい。友達から聞いた方法を試してみたい。 ☆家族が集まる一番広い部屋だから、リビングを掃除してみたい。テレビの裏にはほりかたまっていると思うので、きれいにしたい。	◇友達の整理・整頓、掃除の工夫や応用に気付き、自分の生活に生かせることをまとめている。〈発表・ワークシート (1)〉	